

看的方方法についての市原市でのルール（的中数表示板）

看的方方法について	
1 射場（5人立の場合）	
1	<p>看的表示板への的中表示</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 当番（選手）にて実施。 2 1名は表示板、1名は矢所を確認する。 矢取道側での的中確認の補助を行う。 3 表示は下側が1本目。 4 間違えて表示した場合でも勝手に変更しない。 変更するのは、的中確認の審判の指示がある場合のみ実施。（勝手な変更は記録が混乱）
2	<p>赤旗出し</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 選手（当番）が出す。 2 進行からの行射終了の合図で最初に出る。 的中確認の邪魔にならないように立つ。 3 矢取終了を確認して最後に旗を持ち看的所に入る。
3	<p>的中確認（審判）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 的中確認を行う人は射会開始前に進行との間で打合せを実施し確認する。 的中確認は、当番1名での前審判として行う。 行射中、前審判は的を見て矢所を確認する。 2 進行からの行射終了の合図で赤旗に続き入る。 3 的中確認は1的から5的方向に実施する。 矢所を確認して、的中した数を上側にして右手で板を持ち、的の上・前側に出す。 (写真添付) この時射場からの的は見えるようにしておく。 (的を隠さないようにする事) 4 表示板と的の中に違いがある場合は、 ○的○本目当り（はずれ）です、と発声。 声は出来るだけ大きく射場に届くように。 発声後表示の変更を確認し記録係の合図を見て次に移る。 5 判定できない場合、進行係へ連絡する。
4	<p>矢取</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 矢取は選手にて実施する。 2 2名（行射終了の合図で3・5的横にて待機） 3名（四矢の場合、1・3・5的横にて待機） 3 5的→1的方向へ矢取りし、看的所に入る。 進行からの矢取開始の合図で矢を抜く。 左手での的を押え右手で矢を抜き左手に持つ。 羽根は上に保つ・筈を安土・地面に付けない。 (的に止まり抜けない場合は無理に抜かない。 場合により替的に交換) 4 矢拭きを実施し、矢返し場所へ返す。
5	<p>看的表示板の裏返し</p> <p>進行からの矢取開始の合図を待ち裏返す。 出来るだけ下から順番に裏返す。</p>
6	<p>競射・順位決定</p> <p>要領は、進行係からの指示に従う。 遠近競射の場合の確認の仕方。 正副審判2名と当番1人で入り判定・矢を射場進行係へ渡す。 判定時に的を隠さない。射場側に見せる事。</p>
7	<p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 看的所にいる人は、行射中には手やハカマ等が矢道側に出ないようにする。 扉を閉めておくようにする。 ・ 的中確認者（審判）は、射会開始前に進行係（射場審判）と的中確認方法等について打合せを行ってから実施するものとする。 2人以上で交代で担当する。

看的方法についての市原市でのルール（的中数表示板）

看的方 <small>法</small> について	
	2射場（3人立×2射場）
1	看的表示板への的 <small>中</small> 表示 1 当番（選手） 2名にて実施。 2 1射場、2射場をそれぞれ担当する。 矢取道側での的 <small>中</small> 確認の補助を行う。 3 表示は下側が1本目。 4 間違えて表示した場合でも勝手に変更しない。 変更するのは、的 <small>中</small> 確認の審判の指示がある場合のみ実施。（勝手な変更は記録が混乱）
2	赤旗出し 1 選手（当番）が出す。 2 進行からの行射終了の合図で最初に出る。 的 <small>中</small> 確認の邪魔にならないように立つ。 3 矢取終了を確認して最後に旗を持ち看的所に入る。
3	的 <small>中</small> 確認（審判） 1 的 <small>中</small> 確認を行う人は射会開始前に進行との間で打合せを実施し確認する。 的 <small>中</small> 確認は、当番1名での的前審判として行う。 行射中、的 <small>中</small> 審判は的を見て矢所を確認する。 2 進行からの行射終了の合図で赤旗に続き入る。 3 的 <small>中</small> 確認は1的から6的方向に実施する。 矢所を確認して、的 <small>中</small> した数を上側にして右手で板を持ち、的の上・前側に出す。 （写真添付） この時射場からの的は見えるようにしておく。 （的を隠さないようにする事） 4 表示板と的 <small>中</small> に違いがある場合は、 ○的○本目当り（はずれ）です、と発声。 声は出来るだけ大きく射場に届くように。 発声後表示の変更を確認し記録係の合図を見て次に移る。 5 判定できない場合、進行係へ連絡する。
4	矢取 1 矢取は選手にて実施する。 2 2名（行射終了の合図で3・6的横にて待機） 3名（四矢の場合、2・4・6的横にて待機） 3 6的→1的方向へ矢取りし、看的所に入る。 進行からの矢取開始の合図で矢を抜く。 左手でのを押え右手で矢を抜き左手に持つ。 羽根は上に保つ・筈を安土・地面に付けない。 （的に止まり抜けない場合は無理に抜かない。 場合により替的に交換） 4 矢拭きを実施し矢返し場所へ返す。
5	看的表示板の裏返し 進行からの矢取開始の合図を待ち裏返す。 出来るだけ下から順番に裏返す。
6	競射・順位決定 要領は、進行係からの指示に従う。 遠近競射の場合の確認の仕方。 正副審判2名と当番1人で入り判定・矢を射場進行係へ渡す。 判定時に的を隠さない。射場側に見せる事。
7	注意事項 ・ 看的所にいる人は、行射中には手やハカマ等が矢道側に出ないようにする。 扉を閉めておくようにする。 ・ 的 <small>中</small> 確認者（審判）は、射会開始前に進行係（射場審判）と的 <small>中</small> 確認方法等について打合せを行ってから実施するものとする。 2人以上で交代で担当する事。

※選手（当番）：選手が主で当番が副、当番（選手）：当番が主で選手が副

的より射場側に表示板を出す



的の上側に表示板を出す



担当：競技部